

いはき新報

發行日五、十五、廿五
福島縣石城郡平町
白銀町十五番地
發行所 いはき新報社
編輯兼發行人 平町白銀町
本紙定價 部拾錢 月廿錢
廣告料 一行 拾錢 五十錢
場所指定拾錢増

業開院病衆民

何れが是か否か
賢明なる讀者に訴ふ (其一)

平魚市場問題の真相

俄然白銀町の取引所は

市場法違反と決定中止さるる
四丁目の取引は當局如何に取締か

開業廣告

前號から「いはき民衆病院」を開業致しました。病氣に罹つてゐるもの患者にして醫師の診察をうけても全快せぬもの、その他一般讀者の依頼により診察致します。當分の間診察だけで投薬や入院はお断りし、すが社會に害毒を流すものは外科治療を致し、ます。診察依頼者は、御來院に及ばず手紙にて御容態を示し御申越下さい紙上に御表せす手紙にて御方籤を貴ひたい人は返信料を添付願います。

民衆病院院長 鬼勘平
毒取ル 平町白銀町

いはき民衆病院開業第一回の毒取ル鬼勘平先生の外科手術は一般より非常な高評を博し患者はゾクゾクと満員、先づ第二回の治療は患者白銀町鮮魚取引所、診察依頼人狼狽死太郎

狼狽「先生私は地方漁業即嚴重なる取締りを行ふべし、産業發展を喜ぶ一人であり電話で命令あり七日早朝座りましが平魚市場と白銀鮮魚取引所の問題を御診察を願います」
院長「承知致しました、此患者は平町鮮魚組合共済會鈴木又六氏外一部鮮魚商と共に株式會社平魚市場に對し割戻しの件其他を要求し拒絶されたので脱會し新たに鮮魚取引所を組織して白銀町元平劇場跡へバラック式の鮮魚取引所を設け取引を開始したが内容は純然たる市場であるため縣商工課並に警察部で詳細なる調査を行った結果鮮魚取引所は市場と見做すべきものであると、去る六日縣商工課より取引所代表鈴木又六氏宛に取引中止命令を平町役場を経て申達され、同時に縣警察部歌川警察部長が平署に對し取引の中止を命じ、違反者に對しては

た趣意と、三國屋外一二の反對の理由がお承知でありませぬ」
狼狽「魚市場が四丁目より大工町に移轉されたので附近の商店では祝ひ酒を呑んで喜んだ事だけは知つて居ります」
院長「昨年賢明なる平町有志關係者は平町從來の魚市場は組織の上から見て遺憾の点が多かつた上、設備不完全で非衛生的極まり殊に、近き將來に於て大平市の中心市街たらんとする四丁目の如き交通頻繁なる所では交通妨害となるので現在の大工町に平魚市場として移轉されたのです、それに四丁目時代の市場は極めて放漫な取引状態を續けてゐる爲め、魚商人から賣掛代金の回収つかず、結局各濱の船主に對し品代を支拂ふ能はざる結果、これが原因で一部船主に於ては資金に困つて出漁が不可能に陥る場合も珍らしくなつたといふ有様で、かうした事は地方産業發展を阻害するのは勿論、延いては縣下唯一の水産業の進歩發展といふ点から考へ大いに憂慮すべき重大事であるとして一般の輿論が澎湃として起り現在の理想的平魚市場が經營されたのです」
狼狽「先生市場が大工町に移轉された趣意はよく解りました、それでは目下問題の反對運動は市場に對し割戻し其他の要求を拒絶されての反對だとす

れば實に非常なる卑劣な行爲です、それに就て先生石城地方産業發展の爲めこの反對運動に何か名案がないでせうか」
院長「あるとも、然し彼等が契約を無視し非常識なる行動に出でゐる点、自己の利益から打算する事での對する手術は暫らく時期を見て、四丁目の取引は半公然的に違法行爲を敢てしてゐると考へる、即ち彼等は店先の取引に於て場錢(口錢)を取らぬと稱してゐるが、實際に於ては之を取つてゐるか、而して又道路を勝手に使用し若くは使用せしめて交通妨害を行つてゐる之は道路取締規則にも市場に紹介をなしたの旅館は遠藤氏は地曳綱を設備し法にも抵触してゐると思ふ、昨年平警察署で四丁目の氏は毎夏東京府立第三中である、今夏もいづれ、目附近の交通整理を嚴重學生の臨海講習の便宜を與

光明に點火しろと
默鐘君の送別會
隱し藝に丸昌ホールは歡樂境に
美はしき同業の心盡し

風光絶佳村
豊間海岸を宣傳
其功勞者は遠藤只之助氏
旅館濱屋を經營

大鶴屋商店
保險部の發展

生的に改竄を加へたから東京方面からは續々豊間をさして暑を避けるであらう。
公平無比の紳商
西村屋主人
藥種、寫真器具、化粧品商として本郡有数の問屋筋である同店舖は常に各地よりの注文品發送に繁忙を極む若主人鈴木邦三郎氏は常に公平なる言論に依つて平町に重きを處す實に當今稀に見る公平無比の紳商である。

